

VOS

Take Free
No. 187
2015. April

ようこそ
技大へ!

Welcome to GIDAI!!

新入生歓迎!!

02. 学長メッセージ

03. 副学長メッセージ

04. 課程主任 & 先輩から
新入生へメッセージ

11. 専攻主任 & 先輩から
新入生へメッセージ

13. 全国高専めぐり

14. キャンパスダイアリー
キャンパスマップ

16. 「技術科学イノベーション専攻」
スタート

編集後記

P6に登場!

材料開発工学専攻 修士課程2年
(長岡高専出身)

宮井 菜月さん

P7に登場!

建設工学専攻 修士課程2年
(石川県立金沢西高校出身)

山岸 義之さん



新入生歓迎!!

Message

長岡で誇りを持って チャレンジする諸君へ



Koichi Nihara

長岡技術科学大学 学長 新原 皓一

新入生諸君、世界唯一の技学のメッカ、長岡技科大への入学を心から歓迎します。

大学は学生諸君が未来を創るために存在します。学生諸君が未来への夢を育み、チャレンジするために存在します。私も教職員は諸君と日常的に未来について語り合い、在学中に自分の未来への夢を育み、挑戦し始めることを力強く支援します。若い皆さんには無限の可能性が広がります。未来社会で必ず主役として活躍できることを信じ、自分と長岡技科大に誇りを持って勉学と研究に邁進してください。

長岡技科大は、39年前の開学時から他大学を先んじる革新的な取り組みを行い、多くの優れた人材を社会に輩出してきました。大学院へ進学する全ての学生の必須単位になっている、国内外の企業等と協働した5~6ヶ月の「実務訓練」は、他大学では例を見ない教育プログラムです。また、3年前には原子力システム安全専攻を、この4月1日には企業経営やベンチャー起業を目指す人材を育成する、5年一貫制博士課程の技学イノベーション専攻がスタートしました。この新専攻は修士・博士一貫教育であるので、効率よく勉学・研究を進めることができ、その分を海外長

期留学やMBA取得に充てることもできますし、博士号の早期(3年)取得も可能です。また、この専攻に参加する学生は授業料免除と経済的支援を受ける権利が与えられます。

本学は企業等との共同研究においても先進的システムを構築しており、例えばH21~23年度における実績は、研究者一人当たりで考えれば全国の800近い大学の中で段々の1位で、研究資金獲得に関して東大・京大に続く3位を占めています。学生諸君も、この共同研究に関わり、大学に居ながらにして企業現場における研究に触れる機会を持つことが出来ます。中には、この研究の中で新しい知見を見出し、発明者として特許出願に名を連ねる学生も少なくありません。また、この成果を基にして学生時代にベンチャー企業を設立し、成功する学生も現れ始めています。諸君は、これら唯一無二の教育体制を持つ長岡技科大での学生生活を通して、実践的・創造的な技術者として世界で活躍するための研鑽を積み重ねてください。

また、これまでの国際展開の実績と卓越した将来構想が高く評価され、本学はスー

パーグローバル大学として今後10年にわたり、国から財政的な支援を受けることになりました。この事業の展開により世界の10ヶ国に構築されるグローバル産学官融合キャンパスを中核に据え、本学の強みと個性である産業界と密接に連携した技学を基礎にした実践教育を更に発展させるとともに、海外大学や企業との相互交流を加速させ世界の技術者教育と新産業育成を牽引する大学としての位置付けを確たるものとし、世界中から尊敬される、なくてはならない大学へと革新していくことを誓います。

諸君には、大学での勉学・研究だけではなく、この自然豊かな長岡で研究室や学生サークル等の仲間、全学生の15%に近い留学生、加えて地域の方々と交流し、人としての幅を広げ、世界の動向を敏感に察知しながら未来を見据えて行動できる実践的で創造的なグローバルな技術者として遅く成長して下さい。

新しい夢ある世界を創るのは若い諸君です。この長岡技科大で、諸君が日本の、そして世界の輝かしい未来を創るグローバルに活躍する高度技術者・研究者としての礎を築かれることを期待します。

Message

21世紀を担う 技術者に向けた助走



Bumpei Nakade

副学長(教務担当) 中出 文平

入学おめでとうございます。これからの4年間もしくは6年間の長岡での新生活、大学という新しい環境での勉強などに大きな期待を抱いておられることと思います。教職員一同、皆さんが大きく飛躍されるために、できる限りの支援をいたします。

情報化社会の進展、グローバリゼーション、地球環境問題の深刻化、少子高齢化の進行などによって、今、技術者が担うことを期待される役割は大きく変わっています。技術者が果たすべき使命、持つべき倫理観も大きく変わらざるを得ないとともに、工学分野自体も医工連携、農工連携など様々な分野との融合が求められています。

本学が開学以来掲げる「VOSの精神」、V= Vitality(活力)、O= Originality(独創力)、S= Services(世のための奉仕)は、本学の学生が、実践的、創造的技術者として羽ばたくためのモットーです。

これに加えて、多様化しグローバル化する社会において目指すべき将来を展望し、対応していくために、複眼的で柔軟な発想のための幅広い知識・教養、より戦略的な技術展開のための経営的感覚、国際的リーダーシップのためのグローバル力といったものの基礎力、応用力を培っていただくことを期待しています。

一方、これからの大学教育は、教員による知識付与型教育から学生主体の自主的・能動的な学修への転換を図り、実践性を重んじることを求められており、本学は「技学教育」をより一層発展させるために、学生が主体的・能動的・創造的に学ぶことを期待しています。

本学の学部、大学院での共通科目、専門科目は、実践的創造的技術者として求められるそれぞれの分野での高度な技術に関する内容はもちろんのこと「経営的感覚」「幅広い知識、教養」を修得

できることに加えて、21世紀の技術者として求められる「環境への配慮」「安全への配慮」「グローバル力」に関する力を蓄えて、「できる技術者」になっていただくために構築されています。その中には、第4学年後半に行われる、全国で唯一本学しか成し得ていない5ヶ月という長期にわたって社会で学ぶ「実務訓練」が主要な位置づけとして用意されています。期待して下さい。

まずはぜひ、皆さんが将来、どういった分野でどういった役割で活躍したいかというロードマップを描いて、そのために自身が身につける、修得すべき知識、技術を見極め、それに向かって勉強を進めて下さい。

充実した学生生活を送られることを、心から期待しています。

Message
課程主任から

「答えの無い問い」に挑戦しよう

機械創造工学課程主任 教授 金子 覚

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。4月は入学式、ガイダンス、合宿研修、授業開始、履修申告など行事が目白押しで多忙な日々を過ごされることと思います。健康に気をつけて、はやく大学生活に慣れてください。

ところで、大学は「答えのある問い」に対して答えを見いだす能力を養う場であり、また「答えの無い、または答えが特定できない問い」に対して答えを持続的に問い続ける能力を磨く場でもあります。人生においては「答えのある問い」よりも「答えの無い問い」に多く遭遇します。「進学」、「就職」、「結婚」、「転職」など人生の進路や

選択に関わる「答えの無い問い」がいくつもあります。この問いに対して「経験」によってのみ身に付く「知恵」がその答えを見いだす糸口になると考えられます。

本学には経験をを通して「知恵」を涵養できる種々なプログラムが用意されています。例えば学部4年次の5ヶ月間にわたる実務訓練です。機械創造工学課程では、国内の他に海外での実務訓練も奨励し、派遣学生全体の約20%を占めています。みなさんには是非それらを利用して「知恵」を身につけ、そして「答えの無い問い」に果敢に挑戦してください。



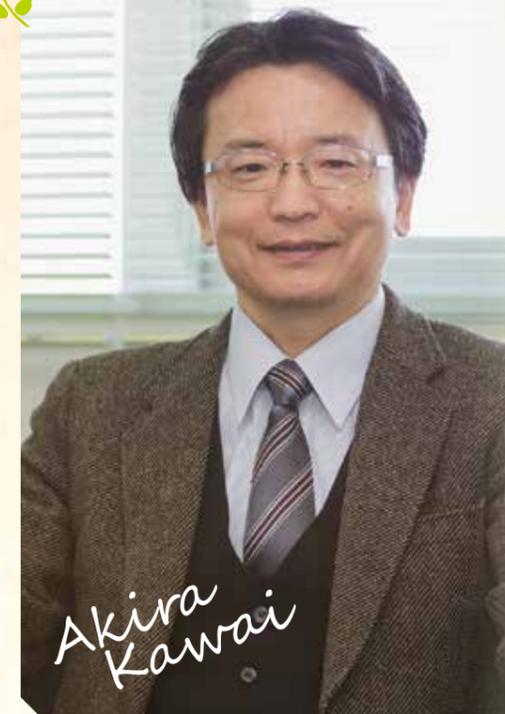
Satoru Kaneko



Message
課程主任から

さあ、チャレンジしよう!

電気電子情報工学課程主任 教授 河合 晃



Akira Kawai

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。この長岡の地で、皆さんの新しい大学生活が始まります。何事にも失敗を恐れずチャレンジして、新たな自分を発見しましょう。また、様々な人との出会いを通じて、豊かな人間性を育みましょう。学部の講義や実験では、実践的な技術者としての素養を習得します。そして「実務訓練」では、国内・海外の企業に派遣されて、実践的な開発・生産過程を身を持って学びます。

電気電子情報工学課程では、電気エネルギーシステム・制御工学、電子デバイス・フォトリソ工学、情報通信制御システム工学という3つの分野をバランスよく学びます。これ

らは、大学院での専門教育へと体系化されています。学部時代には、自分の専門性を見出すとともに、専門外の分野にも興味と共通点を探しましょう。大学院に進学すると、独自の研究テーマを設定し、研究室教員の指導の下で、世界に通じる洗練された研究成果を目指します。指導教員と納得するまで議論することで、自分のチャレンジ精神が開花し、学問と研究の楽しさを味わうことができます。そのためには、十分な学習計画を立て、目標に向かって日々努力することが大切です。

教職員一同、皆さんの有意義な大学生活を応援しています。



Message
先輩から

新しいことに挑戦を

機械創造工学課程 4年 (長岡高専出身) 南雲 光大



Mitsuhiro Nagumo

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活に期待を抱く一方で、人間関係はうまくいこうか、勉強についていけるだろうかなどたくさんの不安を抱えている方も多いと思います。そんなみなさんにアドバイスをしたいと思います。

まず何か新しいことを始めることをおすすめします。例えば部活動です。新しい環境に飛び込んでいくことは勇気がいることだと思います。しかしそれは最初だけです。幸い、この大学は編入生が大多数なので高専で部活に入っていなかったという人も新たに部活動を始めるチャンスだと思います。私は部活動で学内外の多く人と知り合いました。合宿や飲み会をしたり、趣味の話をしたりとても楽しく過ごしています。また他課程の友達もでき、自分の専門分野以外の考えを共有することもできます。

2つ目は目標を持ってください。大学生活ではたくさんの時間があります。この時間をただなんとなく過ごすのではなく、なにか目標を持って時間を有効に使ってほしいです。趣味やサークル・資格取得・バイト・勉強など、なんでもよいと思います。目標があれば辛いことや嫌な事があっても頑張れると思います。限られた時間を有効に使って、有意義な大学生活を送ってください。



アーチェリー部の仲間たち

Message
先輩から

居心地の良い大学生活を

電気電子情報工学課程 4年 (長野県立長野高校出身) 西澤 隆雄

長岡技術科学大学に入学された新入生のみなさん、おめでとうございます。在学生として皆様の御入学を心より歓迎致します。

さて、新入生のみなさんは高専から編入されてきた方々、海外から留学されてきた方々、また地元もしくは他県の高校から進学されてきた方々など様々だと思います。お互い初めての境遇で今までは全く異なる生活を送るであろう環境の中で緊張されている方は多いのではないのでしょうか。かく言う私も大学1年の入学当初は目新しいことばかりで多少浮き足立っていた気がします。これからみなさんはサークルや研究室といった新しい環境に身を置くと思いますが、そういった環境に気圧されてしまうことも多々あるのではないかと私は思います。また新しい雰囲気の中ではなかなか本来の自分を発揮することは難しいかも

しれません。しかしそれでもそういった「過ぎしにくさ」というものは仲間や先輩とのつながりによって徐々に解消されていくはずです。不安に対して焦る必要は全くないと私は思います。また、この大学には密に接してくれる先輩や、快い仲間が大勢いるので、そういった人々との新しいつながりを活かして居心地の良い大学生活を送って下さい。皆さんの実り豊かなキャンパスライフを願っております。



B3フットサルにて



Takao Nishizawa



Minoru Umeda

Message
課程主任から

YELL

物質材料工学課程主任 / 材料開発工学課程主任 教授 梅田 実

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。ここ長岡の地で物質材料について学ぶ皆さんを、先達の言葉でお迎えしたいと思います。

BIG TOMORROW. 外資企業のトップが入社式の挨拶で使った言葉とされています。この日本語訳が良いですね。「明日に羽ばたけ。」皆さんの前途は洋々としています。それを実現するためには、具体的な指針作りが必要です。

匹夫不可奪志也、これは孔子の言葉。是非とも志を持って下さい。それは誰も奪うことはできないと子と言います。できれば大きな方が良いでしょう。もちろん、1-2年かけてじっくり考えても構いません。

TARGET DRIVEN. ある工学研

究者の言葉から。基礎研究、応用研究そして実用化開発まで、同時進行でやってしまう研究開発方式です。品質工学のパレート理論を展開するならば、人間三つの事を同時進行できます。趣味、サークル、研究室活動など多くの経験を積んで下さい。

目標なき者には信念なし、信念なき者には計画なし、計画なき者には行動なし、行動なき者には成果なし。これは、どこぞの古書店にあった掛け軸からの引用です。説明は特に不要でしょう。

古今東西の名言をもって皆さんへのエールしたいと思います。物質材料工学専攻の教職員一同、皆さんを心から歓迎します。楽しく有意義な大学生活を送ってください。

Message
課程主任から

広い視野

環境社会基盤工学課程主任 / 建設工学課程主任 教授 岩崎 英治

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。環境社会基盤工学課程および建設工学課程の代表として、みなさんを心から歓迎します。長岡での勉強や研究、その他の活動を通して、大学生活を有意義なものにしてください。

大学という新たな環境で過ごすことになり、期待と不安が同居した状態だと思います。本学は高専の卒業生が多数、在籍しており、出身地は全国に及びます。これまで育った地域や環境とは、異なる友人をもつことは、それまで知らなかった発見があります。また、本学には、沢山の留学生も在籍しています。留学生とも積極的に友達になって、多様な考え方

があることを知って欲しいと思います。建設系の分野は、台風や地震、豪雪などの厳しい自然環境下で、これらの自然災害から人々の暮らしを守り、社会生活を支える基盤を作るとともに、維持していく分野です。このため、専門的な知識だけでなく、独創性や総合的な視野が求められます。ひとりの技術者がすべてに精通することは難しく、それぞれの分野の専門技術者が集まって実務に当たることが多い分野でもあります。

新たな環境に身を置く、この機会に沢山の友人を作り、多様な価値観に触れて、視野を広げられることを期待しています。



Eiji Iwasaki

Message
先輩から

挑戦

材料開発工学専攻 修士課程2年 (長岡高専出身) 宮井 菜月

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから皆さんは自分が掲げる夢に向かって、より専門的な知識を求め勉学に励まれる事と思います。この大学は非常に恵まれた環境が整っているので、実践的な知識や技術を養うことができます。

例えば修士進学予定者には必修である実務訓練では、技術者として必要な人間性や実社会の価値観を学ぶことができ、希望すれば海外へ行くことも可能です。実際に開発現場の活気を肌で感じ生の声を聞けるのはとても刺激的でしたし、自分の将来設計を具体的に考える契機にもなりました。

また、実務訓練を始め、国際学会発表、短期留学など在学习中に海外に行くチャンスが誰にでも必ず訪れます。国際的に通用する技術者・科学者への第一歩として是非挑戦してみてください。そしてこれは

勉強や研究以外においても言えるのですが、様々なことに積極的に挑戦して、チャレンジ精神や度胸を培ってみてください。失敗することもあると思います。それでも自分の成長を実感できる瞬間は、何事にも替えがたい充実感が得られます。この環境をどう生かすかは自分次第だと思います。皆さんが有意義な大学生活を送られることを心より願っています。



アメリカでの学会発表



Natsuki Miyai



Message
先輩から

素直になる

建設工学専攻 修士課程2年 (石川県立金沢西高校出身) 山岸 義之



Yoshiyuki Yamagishi

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの新しいスタートに心から祝福を送ります。大学生になるにあたり、授業やサークル活動、アルバイト、1人暮らしなど周りの環境の変化に戸惑い、不安になることも多いと思います。その不安を少しでも和らげられるよう、僭越ながら皆さんにアドバイスを送りたいと思います。

皆さんに伝えたいのは、素直になることです。一言で言ってしまうようですが、実は意外と難しいことだと思います。変に考えすぎてしまったり、周りの目を気になったり、あるいはわからないことで塞ぎ込んでしまったり。。大学ではより専門的なことを学習するため授業の難易度が上がります。その中でわからないことや疑問も出てくると思いますが、その時は素直に

先生や先輩、または友人に質問してみてください。本学には、「学習サポーター」という制度があり、先輩がたくさんのことを皆さんに教えてくれると思います。中にはここでしか聞けないような貴重な話が聞けるかもしれません。偏見や先入観は一度0にして素直に聞いてみてください。きっと皆さんの大学生活にプラスになるとと思います。



サッカーで知り合った愉快的仲間たち

Message
課程主任から

チェンジすることと かわらないこと

環境システム工学課程主任 教授 **山口 隆司**

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんを長岡にお迎えするにあたり小話を2つさせて下さい。

ひとつは、チェンジすることです。大学に入られて環境が変わったところですので、誰々みたいに、あんな風に、なりたいたいと思われるご自身に意識して変身されることを期待しています。「生き残る種というのは、最も強いものでもなければ、最も知的なものでもない。最も変化に適應できる種が生き残るのだ。(チャールズ・ダーウィン)」という名言もあります。

もうひとつは、かわらないことです。好きな話に、「朝、会社に行くと、おはようございますと元気よく挨拶している若い社員がいる。あんなに良い挨拶をしている人はどこの部署の人ですか?という話を、横で聞く上司の目がニコニコしている」というものがあります。こうしたことはかわらないことですし、選ばれる徳だと思います。

皆さんが本学で成長されること応援していますので、大学の教職員を使いこなして下さい。期待しています。



Takashi Yamaguchi

Message
課程主任から

没頭されたし

生物機能工学課程主任 教授 **政井 英司**



Eiji Masai

生物機能工学課程へのご入学を心よりお慶び申し上げます。

当課程では、生物の持つさまざまな機能を工学に応用し、資源・エネルギー問題、環境問題、健康・医療等に貢献できる人材を育成するための教育と研究を行っています。当課程には他大学の工学部生物関連学科では見られない多様な生物機能に関する研究室が揃っており、必ずしやみなさんが興味をもって打ち込むことができる研究テーマが見つかるかと確信しています。

さて、当課程では今年度から研究室の配属時期を第3学年の3学期末から2学期に早めることが決定しています。高専から入学されたみなさんにおいては、1学期終了後、直ぐに研究室に配属されることになり、より早期に専門性の高

い実験と学修に取り組むことが可能になります。しかし、このことは同時に、配属されるまでの期間が短くなり、どの分野を選択するかを早く決めなければならないことを意味しています。そのためにはしっかりした目標設定を行って1学期を有意義に過ごす必要があります。大学4年次からは研究活動を主体とした生活になりますが、この生活を通して問題解決能力、プレゼン力、コミュニケーション能力を高めていくことが求められます。それらの力を育むのは容易ではありませんが、みなさんの意識次第で最終的に得られる力や経験に大きな差が生まれてくることは言うまでもありません。この大きな転機に生物機能工学に没頭されることを期待しています。



Message
先輩から

目指せ! 世界中に友達100人!

環境システム工学専攻 修士課程2年 (木更津高専出身) **鶴岡 夏海**



Natsumi Tsuruoka

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんは、長岡技術科学大学のどこに魅力を感じて入学を決めましたか?私は、この大学がとてもグローバルな環境にあるところに魅かれました。その理由として一つ目は、海外へ行くチャンスがみんなにあるということです。実務訓練をはじめ、学会や研究などで海外へ行く学生がいます。私は実務訓練で約半年間ベトナムへ行かせてもらいました。二つ目は、この学校に留学生が多く在籍していることです。きっとみなさんのクラスにも、今後配属される研究室にもさまざまな国から学生が集まっていると思います。お互いに分かり合おう伝えようという気持ちがあれば、文化の違いも言葉の違いも壁になることはほとんどありません。英語が得意じゃなくても大丈夫です。国籍を問わずに多くの

人と関わることは、自分にとって物事の考え方や人との接し方などを学ぶことができプラスになることは間違いありません。私は、みなさんがこのようなグローバルな環境を最大限に生かしてくれたらいいなと思います。みなさん、ぜひ多くの人と関わり、多くの刺激を受け、充実した大学生活を送ってください。



ボランティア「村の小学校の子どもたちに体育を教える活動」(カンボジア)

Message
先輩から

学内交流と学外交流

生物機能工学専攻 修士課程2年 (新潟県立新潟工業高校出身) **和田 捺暉**



Natsuki Wada

本年度入学されたみなさん、長岡技術科学大学へようこそ。1日も早くみなさんが新生活に慣れるよう、応援しています。

さて、みなさんはこれから多くの時間を勉強、サークル、バイトや研究といったことに費やすことでしょうか。ですが、これらの時間を少し、自分の成長のために費やしてみることをおすすめします。

本学では様々な国や県の学生と交流ができますが、異なる年齢層の方々との交流の機会というのは(大学教員を除く)そう多くありません。私は学外で参加しているNPO法人の活動を通し、幸いなことにそういった機会に恵まれ、そこで得られた学生とは違う視点からの意見、経験談や知識はとても勉強になりました。また、こういった交流を通してコミュニケーション能力や度胸

が磨かれたと感じます。将来社会に出るにあたり、これらの経験や得た能力というのは学生にとってとても重要です。学生間の交流や普通の学生生活を送るのもいいですが、自分自身の成長のために、社会に出る練習だと思い、みなさん思い切って時間をつくり、学外に飛び出してみませんか?



NPO法人の打ち上げにて



Muneo Kitajima

Message
課程主任から

**仲間とともに
豊かな経験を築こう**

情報・経営システム工学課程主任 / 経営情報システム工学課程主任 教授 **北島 宗雄**

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、長岡技術科学大学のキャンパスで同じ時間を過ごす仲間となりました。皆さんは、ひとりひとり、それぞれの経験を積み重ねてこの日を迎えました。これから経営情報システム工学課程、情報・経営システム工学課程で得られる経験は、これまでの皆さんの経験に組み入れられ、皆さんの力になっていきます。本課程では、「健康的で快適な個人生活」「多様性と持続性のある情報社会」を実現するために、最先端の情報技術・情報科学を体系的に習得し、それらを製品・システム・サービス、あるいはビジネスとしてデザインできる実践的・創造的技術者・研究者・経営者の育成を行います。

新入生の皆さんには、平日頃から「個人生活」や「情報社会」に強い関心をもっていただきたいと思います。関心の持ち方は、ふわふわしたリアリティのないいい加減なものではなく、これまでに経験してきた実体験に裏打ちされたしっかりしたものであることが大事です。皆さんはひとりひとり異なった経験をしてきているので、関心の持ち方も個々で異なるはずですが、皆さんひとりひとは本課程の仲間達と時間を共有することで、より深い経験を築き上げることができます。「個人生活」や「情報社会」への強い関心を持ち、本課程で過ごす時間のなかで深い知識を得られるように有意義な時間を過ごしていきましょう。

Message
専攻主任から

**ようこそ原子カシステム
安全工学専攻へ**

原子カシステム安全工学専攻主任 教授 **末松 久幸**

現在、原子力を取り巻く社会環境がゆっくりと、しかし大きく動きつつあります。まず、今年後半には、いくつかの原子力発電所の再稼働が予想されています。このため、東日本大震災の教訓を生かした新規性基準に定める新たな安全技術と運用方法が開発されつつあります。さらに、福島第一原発廃炉という大きな課題の解決への歩みも進められています。前例のない状況に陥った炉心の状態は、ロボット・遠隔監視装置開発、超高温での化学反応の熱力学などの研究開発により、少しずつ解明されつつあります。いずれでも、先例を参考に出来ない中で、未知の技術を自分であたりに構築し、巨大プラントをより安全にしていける能力が求められています。

本専攻では、原子力プラントにシステム安全をという考えでカリキュラムが構成されています。これは、今まさに必要な知識と方法論です。本専攻には政府から大きな期待が寄せられており、諸君ら新入生が利用できる原子力安全・システム安全棟と新静電加速器が建設・導入されました。そして、本専攻修了生は、原子力プラント・材料メーカー、発電事業者、研究所等から熱く注目されています。新たに本専攻に入学された諸君も、まず各自の勉学・研究活動に励んで下さい。その上で、本学の仲間と教員と新たな輪を作り、本学のネットワークを存分に活用して立派な技術者として日本国内、そして世界で活躍されますことを期待しています。



Hisayuki Suematsu

Message
先輩から

**試される盆地、
長岡へようこそ**

経営情報システム工学専攻 修士課程 2年 (阿南高専出身) **平野 雄大**

ご入学おめでとうございます。早速ですが、ここ長岡という土地で生きるは大変です。これから生き残るために大切な点を2つ挙げていきますので、今後の生活の参考にしてください。1つ目:長靴を買う
長靴が無ければ冬場は生きていけません。雪道を歩くときに絶望することになります。できれば3000円以上の長靴を買うことをおすすめします。安すぎると、すぐに破れてしまい、買い換えることになってしまいます。
2つ目:車を持つ或いは車を持つ友人を増やす
長岡技大のポジションは、割りと不便です。スーパーが徒歩圏内に無かったり駅が遠かったりと、車が無いと日常生活に支障が出ます。また、雪がとてつもなく積もった時に、車が無いと学校まで辿りつかないこともあります。ですので、車を持つか、車を持っている友人を増やすことをおすすめ

します。以上2点、ネガティブな話題でしたが、最後にポジティブな話題を1つ紹介します。
ラーメンを食べに出かけましょう。新潟県はラーメンが美味しい店が多いです。車で少し走ればラーメン屋には困りません。そこで、私のおすすめを2店紹介します。勝龍と祥気です。どちらも美味しいです。ガッツリ食べたいなら勝龍を推します。



雪を楽しめ!



Takehiro Hirano



Tsuyoshi Tai

Message
先輩から

**将来のための
有意義な学生生活**

原子カシステム安全工学専攻 修士課程 2年 (大阪府立大学高専出身) **田井 毅**

新入生の皆様ご入学おめでとうございます。私は原子カシステム安全工学専攻放射化学研究室に所属し、学生生活を送っています。原子力の分野は、機械系・電気系の分野だけでなく、化学、建築、生物分野など総合的な知識が必要とされる分野です。そのため、様々な専門知識を持つ学生・先生が集まり、広い視点での研究が可能な分野であると思います。
原子力と聞くと、福島第一原子力発電所の事故を思い浮かべる方が多いと思います。本専攻

では、事故が起こった際の対応等を学ぶために、原子力発電所の見学・オフサイトセンターでの実習等のカリキュラムが組まれています。また、RIセンターのような放射性同位体を扱うことができる施設や加速器といった大型装置等、発電利用以外での原子力の知識・技術を身に着けることのできる設備もあります。新入生の皆様は、そういった環境や設備を有効に使い、有意義な学生生活を送り、素敵な将来を実現できることを期待し、お祝いの言葉と代えさせていただきます。

特集 新入生歓迎!!

Message

専攻主任から

飛翔と持続

システム安全専攻主任 教授

阿部 雅二郎

システム安全専攻に入学された社会人の皆様、ご入学おめでとうございます。本専攻では、多彩な分野で実務経験を積んでおられる社会人の方々が、安全について体系的に学ばれ、安全の専門家として“飛翔”されますことを期待しております。

システム安全専攻は、安全に関する技術とマネジメントスキルを統合して応用システムの安全確保を主導できる専門家を養成すべく設立された専門職大学院の特色ある専攻です。本専攻にて、安全の「学理」を基本から、技術とマネジメントの視点を重ねて体系的に学び、さらに「実践」への展開を実現する基盤を構築いただきたく思います。年代や職種

の異なる多様な方々が集まっております。この特徴も生かした積極的な交流は皆様の“飛翔”をより確かなものにするでしょう。“飛翔”も一時的では学びの意義が少ないと言えます。是非、“持続”させて下さい。

このたび入学された皆様は本専攻の十期生となります。本専攻修了生の方々は、本専攻での二年間の学びと経験を活かして社会で一層の活躍をしておられます。本専攻の授業における学びと交流に加え、修了生の方々とも交流を深められ、新入学の皆様が長期にわたり持続的に活躍されますことを祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。



Masajiro Abe

Message

先輩から

Let's enjoy 二足の草鞋life

システム安全専攻 専門職学位課程2年

大塚 くみ子

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。そしてシステム安全専攻の皆様、ようこそ安全の世界へ。

システム安全専攻は、技大の数ある学科・専攻の中でも、社会人経験者のみを対象とする極めてユニークなコースです。入学と同時に学生と社会人という二足の草鞋を履く生活が始まる方も多く、両立できるかどうか不安を抱えながらの入学式だったでしょうか？私自身、当初は週末に早起きして授業に通うだけで精いっぱい、授業の内容を理解するのはさらに大変、レポートに至っては苦行の如し(これは今も変わらず?)、といった有様でした。とはいえ、基本的な知識は様々な授業で繰り返し学ぶことになります。

慣れないながらもレポートのために復習し、調べ物をしたりしているうちに、少しずつ理解が深まっていったような気がします。同級生や先輩方と話すことも増え、学生生活ならではの楽しみもあり、振り返ればあっという間の1年でした。

学生のバックグラウンドは様々ですが、会社の名前や肩書を離れて本音の議論ができる機会は、通常ではなかなか得難いと思います。様々な年代や業界から集まった学生同士の会話からも学ぶことは多く、視野が大きく広がる実感がありました。ご一緒に安全の奥深い世界を探検しつつ、二足の草鞋生活を堪能致しましょう!



Kumiko Otsuka

シリーズ

全国高専めぐり

第十八回 | 苫小牧工業高等専門学校

新たな50年に向けて

独立行政法人 国立高等専門学校機構 苫小牧工業高等専門学校 校長 黒川一哉 Kazuya Kurokawa



苫小牧高専は、昨年創立50周年を迎え、今年から新たな50年に向けて始動を開始しています。苫小牧は道央圏に位置し、新千歳空港から南へ約30kmの太平洋に面した工業と港湾業の盛んな都市です。苫小牧高専は、特徴ある溶岩ドームを有する活火山・樽前山の麓にあり、学生は樽前山の燃えたぎるエネルギーを受け成長し巣立っていきます。

苫小牧高専は、機械工学科、電気・電子工学科、物質工学科、情報工学科、環境都市工学科の5学科体制を敷き、「豊かな人間性および自主自律の精神を育成し、

技術者に必要な知・徳・体のバランスがとれた成長を促し、社会の発展のために活躍できる人材を育てる」ことを教育理念として、自ら道を切り拓き社会に貢献する学生の育成に努めています。

本校では国際性を重視し、EIT(ニュージーランド)、Thei(香港)、モンゴル高専など外国の高等教育機関との密接な交流を行い、それによって自然に学生が国際性を身に付けることができるようになっていきます。本校の卒業生の多くが足繁くモンゴルに行き、教育器材の提供や教育支援を行っていることは特筆に値します。

これからの50年に向けて、本校では長岡技術科学大学との連携強化(アドバンスコースの更なる活用や共同研究の積極的推進など)に加え、アクティブラーニング、インターンシップ、CO-OP教育の充実をより一層強力に推進し、自ら道を切り拓くことのできるタフな人材を育成したいと考えています。

苫小牧高専URL: <http://www2.tomakomai-ct.ac.jp/>



創立50周年記念祝賀会



創立50周年記念碑除幕式

苫小牧高専から長岡技大へ

技大という選択肢



建設工学課程4年

桐本 翔平 Shohei Kirimoto
苫小牧高専環境都市工学科 平成26年3月卒業

私の出身校である苫小牧高専は、太平洋に面しています。そのため道内でも夏は涼しく、冬も雪が少なくとても過ごしやすい環境です。

さて、高専から進学を希望するとき、大きな選択肢として専攻科と大学があります。その中でも大学、特に技術科学大学というのは、日本全国のみならず世界各地から人が集まってくる。これは他の進学先にはない大きな特徴です。また、その多くは自身と同じ編入生であり、新たな交友関係を築きやすいといえます。

技術科学大学は2校ありますが、各校にはそれぞれ得意とする分野がありま

す。私は土木について学びたかったので、その分野に秀でた長岡技大への進学を決めました。

今後進学を考えている方は、技大を1つの選択肢として考えてみてはいかがでしょうか。



サークルの仲間たち

Campus Diary & Map

キャンパスダイアリー&キャンパスマップ

平成27年度 Campus Diary

第1学期(4月1日~8月31日)

- 春期休業 4月1日(金)~4月4日(土)
- 入学式 4月5日(日)
- ガイダンス 4月4日(土)、4月5日(日)、4月6日(月)
- 新入生宿泊研修 4月7日(火)~4月8日(水)
- 授業開始 [工学部及び工学研究科] 4月9日(木)
[技術経営研究科] 4月11日(土)
- 技大桜散策祭 4月18日(土)・4月19日(日)(予定)
- 定期健康診断 5月14日(水)~5月16日(金)
- 春季球技大会 5月17日(土)
- 授業終了 7月28日(日)
- オープンキャンパス 8月8日(土)
- 夏期休業 8月6日(金)~8月31日(日)
- 長岡まつり民謡流し参加 8月1日(土)

第2学期(9月1日~12月31日)

- 授業開始 9月1日(火)
- 技大祭 9月20日(日)~9月21日(月)
- 開学記念日 10月1日(火)
- 秋季球技大会 10月10日(土)
- 市内3大学合同球技大会 11月28日(土)
- 授業終了 12月21日(日)
- 冬期休業 12月28日(日)~12月31日(水)

第3学期(1月1日~3月31日)

- 冬期休業 1月1日(金)~1月7日(木)
- 授業開始 1月8日(金)
- 授業終了 2月29日(日)
- 卒業式・修了式 3月25日(金)
- 春期休業 3月26日(土)~3月31日(水)



「技術科学イノベーション専攻」がスタートしました



新入生へのメッセージ



サービスの精神を持ち、技術を科学して未来をつくる専攻

技術科学イノベーション専攻主任 教授 **山口 隆司**
Takashi Yamaguchi

ご入学おめでとうございます。授業は英語、海外にて研究、大学院入学後3年という早期で博士号取得可能、世界を視ているスタッフ揃い、加えて、入学科・授業料不要、月々の奨学支援ありという体制の専攻ができました。本専攻は、本学のコンセプトである

技術を科学し、未来をつくることです。研究に没頭でも良いですし、経営学修士MBAに挑戦、起業、何でもできそうです。チャレンジ精神を有し、サービス精神もあり、選ばれし諸君達がこの専攻の歴史をつくります。期待しています。

育成する人材像

海外拠点大学を中心としたグローバル産学官ネットワーク(グローバル融合キャンパス)を土台とした技術科学(技学)教育により、世界で活躍でき、イノベーションを起こせる能力を持ち、日本及び世界の産業を牽引する特に優れたリーダーを育成します。

ベンチャー起業志向技術者

専門分野の最先端研究と合わせ、本学と連携する大学でMBAを取得し、経営的な思考ができる技術者を育成します。

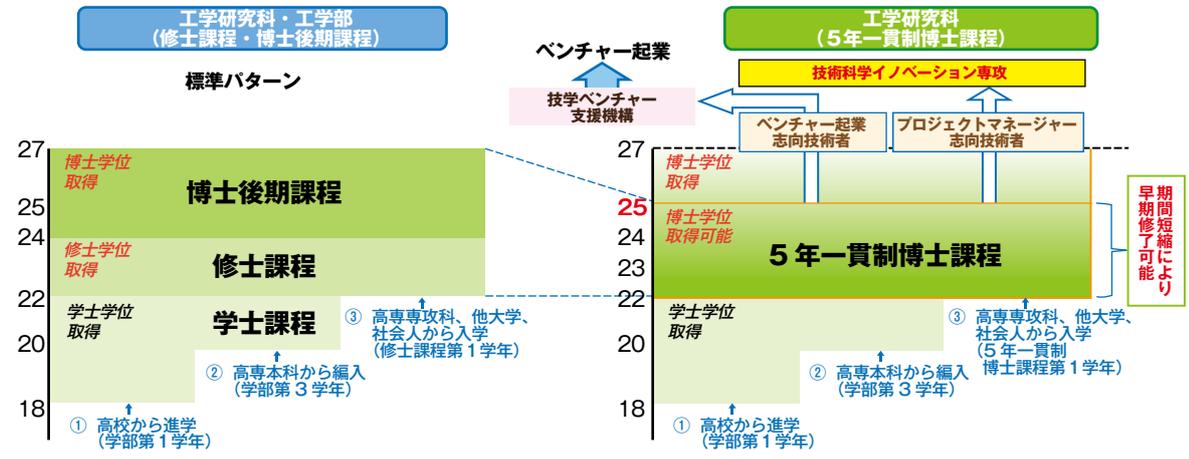
プロジェクトマネージャー志向技術者

異分野融合型の研究プロジェクトを経験させ、専門分野横断型の思考ができるプロジェクトマネージャーを育成します。

「技術科学イノベーション専攻」の特徴

“技学に基づく”グローバルイノベーションリーダー養成のための“プレミアム教育”

☆世界で活躍するトップクラスの起業家による講義と指導
☆グローバル融合キャンパスによる実践教育



編集後記

入学式の時期には正門前にまだ残雪があり、それに驚く新入生は少なくありませんでした。近年の環境変動の影響か、雪を入学式時に見る機会も失われるのかもしれませんが、環境は変われども学生さんは変わらず勉学に励み、様々に大学生活を送っています。桜並木を散策しながら、大学という場所を楽しんで頂きたいと思います。

VOSの由来 本学のモットーである、Vitality,Originality,Servicesの頭文字をとって、本学初代学長の故川上正光氏により名付けられました。



VOS NO.187 [平成27年4月号]
編集発行 長岡技術科学大学広報委員会
◎本誌に対するご意見等は下記までお寄せ下さい。
〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1
TEL. 0258-47-9209 FAX. 0258-47-9010 (学長戦略課)
E-mail : skoho@jcom.nagaokaut.ac.jp URL : http://www.nagaokaut.ac.jp/

